

学年通信「打たれよ熱き鉄人たち」第13号

令和元年(2019年)9月17日(火)発行

◎切り替えの秋

修学旅行3泊4日は、諸君らの**時間軸が垂直に大揺れした一大イベント**だった。北の大地は想像以上に雄大で、北の街並みは期待以上に魅力的だった。川を下った。森を歩いた。港町。北大キャンパス。ここでしか味わえないB級グルメ。初めてづくしの連続だった。友情が深まった。新たな友が生まれた。このまま寝るのがもったいなかった。胸が熱くなり、鼓動が鳴り止まない瞬間があった。ひと月分笑い転げた。家で喋りたいことが山ほど出来た。幸せの記憶を何枚もスマホに貯め込んだ……。

以前勤務していた高校で、**就職のための模擬面接**をしたことがある。高校時代一番の思い出は何ですかという質問に、**修学旅行を挙げた生徒が半数以上**いた記憶がある。最高の思い出であることは大変喜ばしいことだ。お家の方に小遣い足せば10万円をゆうに超える負担をおかけして、楽しくなかったなどと言われたらたまものじゃない。

結団式場で**三つのミッション**を諸君らに課した。一つ、**アイヌの文化や北海道の土地に学ぶべし**。二つ、**日常を離れたこの旅で何か一つ自分を変え、成長すべし**。そして三つ、**最高の思い出をつくるべし**。

修学旅行は学びの場。かといって、こちらが何かを教えることはない。旅そのものが教材であり、体験こそが一番の教師である。そして何より大切なことは、感謝の気持ちだ。大きなお金が動いている。行けるのが当たり前と思わず、校長先生が結団式でおっしゃったように、まず行かせてもらった**親に心から感謝**していただきたい。

さて、リセット。今週からは一旦思い出は胸にしまって次の二つのことを実践して欲しい。一つは、**時間軸を再び進行方向に戻す**こと。淡々とした日常。自分の夢を叶えるために学業と部活動の両立目指して今まで歩んできた**当たり前の日々を取り戻す**こと。そしてもう一つは、これから卒業までの1年半で、**修学旅行以上の「最高の思い出」**を見つけること。諸君らがなすべき

9月～11月初め行事予定(秋季総体・高文祭までの道のり)	
9/17	火 ⑦総合(修学旅行事後学習)
18	水 滋賀医大看護学科説明会
19	木 ⑦LHR(生徒会立会演説会・投票)
20	金 スクールカウンセリング*
21	土
22	日
23	月 《秋分の日》
24	火 月曜日の時間割 ⑦総合(各クラスごとに図書館:探究活動)
25	水
26	木 ⑦LHR(内容未定)
27	金 油拭き
28	土
29	日
30	月
10/1	火 ⑦総合(引き続き図書館で探究活動) 考查時間割発表
2	水
3	木 ⑦LHR(小論文講話:武道場)
4	金 スクールカウンセリング*
5	土
6	日
7	月
8	火 中間考査
9	水 中間考査 PTA研修旅行
10	木 中間考査 ↓スクールカウンセリング*
11	金 中間考査 ④除草作業 高校生のための滋賀の教師塾
12	土
13	日
14	月 《体育の日》
15	火 ⑦総合(探究活動)
16	水
17	木 ⑦LHR
18	金
19	土
20	日
21	月
22	火 《即位礼正殿の儀》
23	水
24	木 ⑦LHR(内容未定)
25	金 スクールカウンセリング*
26	土
27	日
28	月
29	火 ⑦総合なし
30	水
31	木 秋季高校総体・高文祭 (残留生徒:読書・課題)
11/1	金 秋季高校総体・高文祭 (残留生徒:読書・課題)
2	土
3	日 《文化の日》 校外模試・小論文模試
4	月 《文化の日振替休日》

ことは無尽蔵にある。諸君らが学ぶべきこと、吸収すべきこと、経験すべきことは山ほどある。諸君らは誰もが伸びしろに満ちている。次第に深まってゆく秋の夜長を、自ら課した課題でこれからも討たれ続けよ、熱き鉄人たち！

シリーズ「担任のこころ」10 ^{いそ}磯 ^{さとこ}智子（2-2副担任 英語 吹奏楽部顧問）

～人生を実り豊かなものにするために～

「人生って?」「自分にとって、人生の意味は何か」「何を価値とするか」を考えてみたことはありますか。何に人生のプライオリティを置くかはその人の生き方次第です。

人生って、教養と個性を身につけて、いかに魅力的な人間になるかという道を歩き続けることだと思っています。それを見つけた人の周りには、歳をとっても自然と人が寄ってくると思っています。いろんな人と知り合って、いろんな人の人生を吸収するってすごく楽しいことだと思います。そのために人との交流を持つためにも社会にでるのはいいことです。ボランティアに参加してみるとか、自分の枠外の人たちと繋がってみる。行動することが大切だと思います。

私は職業柄、普段出会う人が限られています。最近は子育ても一段落し自分のための時間を持てるようになったので、様々な人との交流を持つためにも、いろんな場に積極的に参加するようにしています。大学時代のサークル仲間（ほとんどが企業に勤めている人）や、同じ趣味を持つ仲間に出会う機会が増えました。会えば会うほど、自分がいかに無知で無教養なのかを思い知らされます。政治や経済の話にもちょっとついていけないとか、歴史をもっと勉強しておけばよかったとか、音楽をきいても、絵を見てもこんな感想しか言えないとか……。すごく恥ずかしい。そうするとその種の本を読んでみようという気持ちになります。本を読むことの大切さも改めて感じています。思考力を伸ばし、想像力を豊かにし、自己を形成し、人生を豊かにするのに読書は欠かせないものです。

みんなは八日市高校で授業を通して基礎知識を学んでいます。何のために？もちろん今は大学受験のため、志望校合格のためでしょうが、もっと視野を広げてみてほしいです。

「受験に関係ないものはスルー」ではさみしいものです。自分の人生を実りゆたかなものにするためにも教養がある（つまりいろんなことを知っている）ほうが得に決まっているのです。

これからの長～い人生を楽しめるものとしていくためにも、みなさんが学校でしっかりと学び、日々の様々な体験が勉強だと思ってポジティブに過ごしてくれることを望んでいますね。



事務連絡

再来年1月実施の大学入学共通テストについて新たな枠組みが示されました。具体的には、3年生になってから、英検やGTEC等の業者テストを2回まで受験し、よい方の成績を大学入試の判定に反映させるものですが、これについては、9月下旬のLHRで「共通IDの登録」を含めた手続き等について、詳細な情報提供とともに指示します。保護者の方もお知りおきください。